



報道関係者各位(研究情報)

2025 年(令和7年) 6 月 23 日

弘前大学と丸善製薬が共同研究講座 「先端ファイトケミカル健康学講座」を開設

国立大学法人弘前大学(学長:福田眞作、以下「弘前大学」と、丸善製薬株式会社(代表取締役社長:日暮泰広、本社:広島県尾道市、以下「丸善製薬」)は、2025 年 4 月 1 日付で、共同研究講座『先端ファイトケミカル健康学講座』(英語表記:Department of Advanced Phytochemical Health Research)』を開設し、6 月 23 日に弘前大学において開設式を執り行いました。

■講座開設の背景

日本は、「人生 100 年時代」を迎え、全ての国民が元気に活躍し続ける社会、安心して暮らすことができる社会を創造していくことが求められています。また、近年国民の生活スタイルも多様化し、健康に対する意識も高まったことにより、生活者が「自分の健康は、自分のために、自分で守る」という考え方が広まって、個々人に寄り添った健康ソリューションを提供するニーズが高まってきています。

このような時代のニーズに応えるために、弘前大学と丸善製薬は、互いに連携することになりました。

弘前大学 COI-NEXT^{※1}では、2005 年から実施してきた「岩木健康増進プロジェクト^{※2}」の超多項目健康ビッグデータをベースに予防医療に焦点を当てた研究を進めております。

また、丸善製薬は、ポリフェノールを代表とするファイトケミカルおよびその腸内細菌代謝物に着目して、植物成分が人体でどのように力を発揮しているのか研究し、人々の健康寿命延伸への寄与を目指しております。

■講座の概要

植物由来の機能性成分の代表例としてポリフェノールがあり、多くの研究がその有効性を示していますが、吸収率が低く、作用機序には未解明な点も多くあります。コーヒーやリンゴに含まれるクロロゲン酸、柑橘類に含まれるヘスペリジン、米ぬかに含まれるγ-オリザノール、ウコンに含まれるクルクミンなど一部のポリフェノールは、腸内細菌によって代謝されると共通して 3-(4-hydroxy-3-methoxyphenyl)propionic acid (HMPA) が検出されます。これまでに丸善製薬では HMPA について抗肥満作用、血糖値上昇抑制作用、LDL-コレステロール低減作用などの健康効果を見出してきましたが、一方でヒトにおいて観察研究を通じて体内の HMPA と健康指標との関連を解析した例はありません。

本共同研究講座では植物由来成分の機能性発揮を多角的に捉え、岩木健診プロジェクトを通じて植物由来成分およびその代謝物を対象にそれらの濃度や変動するバイオマーカー、生活習慣、食習慣、健康指標との関りを明らかにし、人々の健康寿命の延伸に貢献することを目的としています。

<講座名> 『先端ファイトケミカル健康学講座』

<メンバー構成>

伊東 健 (教授:弘前大学大学院医学研究科)
村下 公一 (教授:弘前大学 副学長／健康未来イノベーション研究機構長)
玉田 嘉紀 (教授:弘前大学大学院医学研究科)
三上 達也 (教授:弘前大学大学院医学研究科)
中路 重之 (特別顧問:弘前大学)
多田羅 洋太 (助教:弘前大学大学院医学研究科)

丸善製薬株式会社

栗原 浩誠
木曾 昭典
新穂 大介
西谷 洋輔
吉野 進
塩飽 力也
栢木 宏之

<契約期間>2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

<設置場所>弘前大学大学院医学研究科附属健康未来イノベーションセンター(青森県弘前市在府町 5)

(※1)弘前大学 COI-NEXT 拠点

弘前大学では、2022 年 10 月に文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」に採択されました。弘前大学 COI-NEXT 拠点では、健康を基軸に、若者が地域で働きたいと思える成長産業として魅力的なヘルスケア産業を創出することによって、地域の人々を健康にしながらか経済発展し、全世代の人々が生きがいをもって働き続けることができ、心身共に QOL の高い状態での健康寿命を延伸する、well-being な地域社会モデルの実現をめざしています。これまでの弘前大学 COI 拠点の成果を発展的に承継し、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指すプロジェクトです。

(※2)岩木健康増進プロジェクトと弘前大学 COI 拠点

弘前大学が青森県弘前市岩木地区で 2005 年から継続実施している大規模合同健康調査で、約 3,000 項目という世界に例のない膨大な健診項目を設けることで、巨大な健康ビッグデータを記録しています。弘前大学では、2013 年に文部科学省・JST による「センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」に採択され、岩木健康増進プロジェクト健診の超多項目健康ビッグデータの解析により、認知症・生活習慣病などの早期発見を可能にし、予防方法の創出と検証を行い、その成果を社会実装する研究活動を弘前大学 COI 拠点で展開しました。(2013～2022 年)

■丸善製薬

丸善製薬株式会社は今年で創業 87 周年となる健康食品・医薬品・化粧品の原料メーカーです。漢方処方の 7 割に配合され、「生薬の王」と呼ばれる甘草からの「グリチルリチン」の抽出をはじめに、様々な植物から有用成分を抽出したエキスの開発を通して「自然の恵みをとどける」ことを事業としています。近年では植物と微生物の関りにも着目し、植物の魅力を発酵により高めた商品開発も行っております。エビデンスに基づいた信頼される食品原料・化粧品原料の開発と提供をミッションとし、自然の恵みを世界につなぎ、すこやかな社会を支え、すべての人が笑顔であり続ける未来の実現に向けて取り組んでおります。

【報道関係者の方向けお問い合わせ先】

丸善製薬株式会社 研究開発本部 研究開発本部室 創出チーム 栢木宏之
Tel 080-9957-2316 mail:h-kayaki@maruzenpcy.co.jp

弘前大学医学研究科 事務部
Tel 0172-39-5538